



## 「人づくり=島づくり」

### ⑤ 日本の大人は勉強しない?? (多様な学び方編)

先月号のコラムの最後で、以下のことを書きました。多様な学び方について少しご紹介できればと思います。今の時代、自分にあった学び方を分析し、学ぶ内容も自分なりにアレンジできるようになってきています。未だかつてない、「学び放題時代」の到来です。次号では、少し具体例をご紹介できればと考えています。

#### 【自分にあった学び方を知る】

これまでの心理学研究の蓄積では、人によって、目で見たと情報を処理するのが得意（視覚優位）、読んだ情報を処理するのが得意（言語優位）、耳で聞いた情報を処理するのが得意（聴覚優位）など、認知特性が異なっていることが分かっています。

自分の認知特性を知りたい方は、例えばインターネットで「本田式 認知特性」と検索いただくと、無料の40問のアンケートに答えるだけで簡単に傾向が分かりますのでぜひお試しください。（私は視覚優位の傾向です）。なお、認知特性は固定化されたものではなく、人の成長や環境の変化によっても変わっていくとされています。

その他にも、自分の特徴を知る分析ツールが様々ありますので、興味のある方はぜひお試しください。



◇クリフтон・ストレンクス：34個に整理された「資質」のうち、自分の強みをリストアップして解説してくれるもの（有料）。

◇AiGrow：自分の特徴を、生まれ持った「気質」と身に付けている「コンピテンシー」に分けた上で、自分の強みを判定してくれるもの（有料：昨年度、利島の先生や希望する島民の方向けに実施）。

「AIに自分を審査されるみたいで気持ち悪い」という方もいらっしゃるかもしれませんが、自分にあった学び方を知るためには、今の技術や研究の蓄積をフル活用して、「臭いものに蓋をしない」ことが大切です。

#### 【多様な学び方紹介】

例えば、視覚優位な方にはYouTubeなどの動画が、言語優位な方には読書が、聴覚優位な方にはラジオや本の朗読などで学ぶのが向いているとされています。

◇動画：YouTubeを勉強に使う人が増えてきています。誰もが動画投稿できるプラットフォームYouTubeの普及により、多くの分野・領域について検索すると、だいたい概要をまとめた動画が見つかります。資格試験などを受ける時にも、だいたい専門のチャンネルがあります。

◇読書：学び方の王道としての読書ですが、「紙で読むかデジタル（電子書籍）で読むか」を自分なりに上手に使い分けることが大事になります。専門で研究されている群馬大学の柴田教授は、「目を使うならデジタル、手を使うなら紙。情報を受け取るならデジタル、情報をつかみ取るなら紙。」という役割分担を提案されています。

◇朗読：耳で聞くタイプの学習コンテンツも増えてきています。私は、ビジネスマン向けに要約された本が毎日1冊が紹介される「flier（フライヤー）」というサービスに登録しているのですが、役場と自宅を歩いて往復する際に聞いたりしています（月額2000円程度ですが、とてもオススメです）。

大人が背中を見せて勉強していき、学んだことを活かして日々の生活をより良くしていきたいですね！

コラムの感想・意見はこちらから

